

おすすめの絵本



内田 有美 文/絵
(福音館書店)

さくら新聞

～笑顔de共育て～



令和7年1月1日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町7-25-45
TEL 3997-0070
FAX 3997-0972



月の主題：お正月遊びを楽しもう
保育のねらい：新しい年を迎え、伝承あそびやお正月あそびを楽しむ

令和七年

昨年、園の運営にご理解、ご協力を賜りまことにありがとうございます。心より感謝申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

石神井町さくら保育園
職員一同



謹んで新年の

お慶びを申し上げます

笑う門には福来る



下の写真をご覧ください。0歳クラスのお子さんが床に埋め込んである、鏡を真剣にのぞき込んでいる写真です。ここに見えているのは何だろう、なぜこちらをじっと見つめてくるのか・・・とても不思議そうに見つめ続けている様子です。その様子をうかがっていた保育者が、ふと顔をあげた赤ちゃんに向けて、「いたねえ〇〇くん、ねえ、いたいた」と笑顔で優しく声をかけました。その声に保育士の顔をじっと見て、赤ちゃんも次第に満面の笑顔になりました。

保育室には発達を考慮して、様々な遊具が準備されています。写真の0歳児クラスの部屋も、子どもたちの見てみたい、触ってみたいという好奇心をくすぐるおもちゃや仕掛けが棚、壁、床...いたるところにあります。入園したときには、知らない場所、初めての大人で不安で泣いて



ばかりだったのに、いつもの場所、いつもの大人との関わりを積み重ね、安心して過ごせる様になり、物を介しても遊べるようになっていきました。ふと顔をあげると笑顔で見守ってくれる、いつもの大人がいる。笑顔はうつると言われますが、笑顔の大人の表情を見つめ、赤ちゃんも真似をして笑顔になり、赤ちゃんの笑顔を見て、さらに大人も喜んで笑顔になっていきます。笑顔あふれる日々を重ねていくことで、幸せな時間が年輪のように広がっていきますね。

4歳児クラスのおたよりの中に、5歳児クラスの子どもたちに憧れて、難しい遊びだけれど同じように挑戦している様子が書かれています。自分で感じて、考えて、自分の手や身体をつかって、あきらめないで挑戦したり、友だちと喜びを共有しながら、遊ぶことが楽しいと感じられるのは、0歳児から始まるまねっこ、周囲の人と行為を共有することの喜びの積み重ねがあつてこそだと感じます。

令和7年が始まりました。子どもも大人も、好奇心豊かに様々なことに興味、関心をもって、自分で考えて、喜びを共有しながら過ごしてまいりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(文責：有馬 聡子)



1月 行事予定

日	曜日	内容
4	土	保育開始日
7	火	身体計測 (乳児)
8	水	身体計測 (幼児)
10	金	鏡開き
14	火	おはなし会
15	水	さくらアートくらぶ (3歳児) ニコニコフォト
16	木	さくらアートくらぶ (4歳児) ふれあいランチ
24	金	くりぐみ保護者会 (4歳児) 歯科指導 (5歳児)
29	水	まつぼっくり保護者会 (3歳児)
30	木	しいのみ保護者会 (2歳児)

- ・絵本貸出 (全園児) : 1/9 (木) スタート
- ・ゲーム貸出 (4歳児 5歳児クラス・在園児の兄弟)
新年最初の貸出 1/8 (水) スタート

*1~3月の避難訓練は予告なしで実施します。
*実習生のお知らせ: 1/27~2/8⇒東京成徳大学
1/31~2/14⇒白梅学園大学

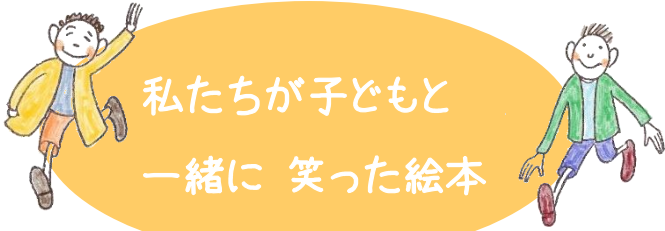
『情報伝達訓練』の実施について

2月1日(土) 12:00~24:00

- ①コドモンの配信
- ②災害用伝言ダイヤル(171)
- ③災害用伝言版(web171)

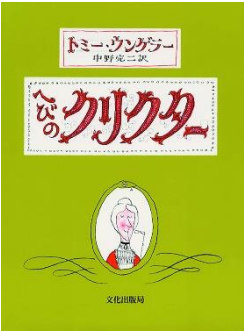
*保育園連絡メールの運用終了に伴い、今回の訓練からコドモンにてお知らせします。





私たちが子どもと一緒に 笑った絵本

年のはじめに、笑いを誘ってくれる絵本はいかがでしょう。職員おすすめの絵本をいくつか紹介いたします。



トミー・ウンゲラー作/絵
中野 完二訳 (文化出版局)

已年にちなんで、へびの絵本をご紹介します。絵本『すてきな三にんぐみ』のウンゲラーの傑作作品。心優しいへびのクリクターが大活躍する、ユーモアたっぷりのナンセンスファンタジー。へびが苦手な arima も大好きなおはなしです。



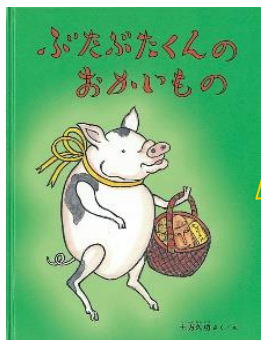
アーノルド ローベル作
三木 卓訳 (福音館書店)

ふくろうは しょっきだながらゆわかしを とりだしました。「ぼく こんばん なみだでおちやを いれようつと。」 そんな出だして始まる『なみだのおちや』など、ふくろうくんのエピソードが5つあった、ローベルのユーモアのセンスあふれる絵本です。



長新太 文/絵
(文化出版)

ナンセンス絵本の代表作家ともいえる長新太氏。ただただ、楽しむもよし。深〜く哲学的に考え込むもよし。摩訶不思議な世界観を子どもと素直に楽しんでいる、horie おすすめの『キャベツくん』。キャベツを見たら、「ブキャ」って言いたくなってしまうですよ！



土方久功 作/絵
(福音館書店)

こぶたのぶたぶたくと、からすのかあこちゃんと、くまのこぐまくんがおつかいに出かけます。個性豊かなお店屋さんとのやりとりがなんとも愉快で、ほっこりする面白いお話です。個人的にぜひとも行ってみたいのは、不思議なパン屋さん。ぶたぶたくんが買った、「かおつきぱんのじょうとうパン(買い物かごに入ってる)」はどんな味なんだろう…気になります。



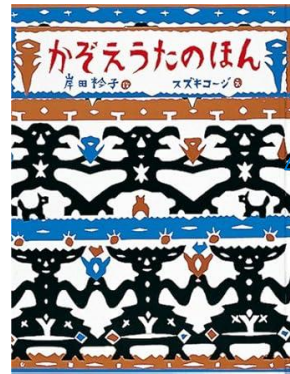
マリー・ホール・エッツ 文/絵
まさきるりこ 訳 (福音館書店)

「とりも けものも、もりの どうぶつは、だれも わらえないの」ヒトだけが笑うことができるという、素敵なことに気づかせてくれる絵本です。



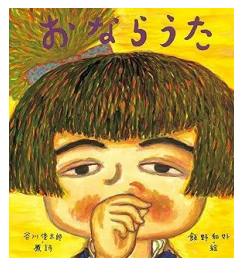
ウィリアム・ベンデュホア文/絵
松岡享子 訳 (岩波書店)

トミー・ナマケンボは電気じかけの家に住んでいます。お風呂も着替えも食事も歯磨きも全て機械がやってくれます。ところがある日、停電になってしまったから、さあ大変。ものぐさトミーにはなりたくない、子どもたちと、くすくすと笑いながら楽しんだおはなしです。



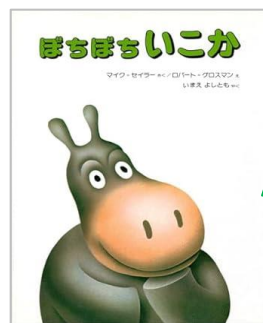
岸田衿子 著
スズキコージ 絵
(福音館書店)

スズキコージ氏のインパクト抜群の絵と、岸田衿子氏のリズム感あふれる奇想天外な言葉でつづられる、かぞえうたの数々。毎年、子ども達が魅了され、口ずさむ姿がたくさん見られる楽しいかぞえうたの絵本です。



谷川俊太郎 原詩 飯野和好 絵
(福音館書店)

「おなら」って言葉にするだけで、笑いがこみあげてくる子ども時代。ページを開くたびに「がはははは」と笑いの渦が巻き起こること必至！！yoshikuni おすすめの 詩人 谷川俊太郎氏の原詩に、飯野和義氏が絵を描いた匂いまで感じられる、笑いの絵本です。ぷっぷ〜！



マイク セイラー 作
ロバート グロスマン 絵
いまえよしと 訳 (偕成社)

夢多き主人公のカバが、様々な仕事に挑戦しますが、なぜかどれももうまくいきません。ooihi おすすめのスーパーポジティブなカバくんのお話！落ち込むことなく、次いでみよう！とばかりに挑戦続けるカバくん。それでも上手いかなかいたときは、「ぼちぼちいか」ということや！生きるってこういうこと！2025年もぼちぼちいきましよう！